

<PR 総研> 無料セミナー

「AI時代の危機管理広報」講座のご案内

— 生成AI時代、広報は何を備えるべきか —

— 4月22日（水）15:00～16:30 —

PR 総研
(共同ピーアール総合研究所)

生成AIの普及により、ディープフェイクや誤情報拡散など、新たなレピュテーションリスクが顕在化しており、広報担当者に求められる危機管理の在り方も大きく変化しております。AI生成による虚偽情報・フェイクニュース、ディープフェイク動画の拡散、AI活用広告・コンテンツによる炎上など、いま広報にはAI起因リスクを見抜く力、初動24時間の判断力がもとめられています。本講座では、AI時代に広報が押さえるべき“最重要ポイント”を90分で整理します。

※ 本講座は、オンライン講座はありません。

「AI時代の危機管理広報」講座 実施概要

■対象者 広報担当者

- 本講座の特色
- ① AI起因リスクの全体像がわかる
 - ② 従来型炎上との違いを理解できる
 - ③ 初動24時間の判断軸がわかる
 - ④ 自社の課題が見える

■概要 詳細はカリキュラムをご覧ください。

■日時 2026年4月22日（水）15:00～16:30

■会場 共同ピーアール セミナールーム（東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10階）

■講師 射場本 健彦（共同ピーアール総合研究所 上席主任研究員）

■受講料 無料

■定員 15名 ※先着順とさせていただきます

■申込方法： ページ内の「お申し込み」ボタンから申し込みフォームにお進みください。

アドレス：<https://www.kyodo-pr.co.jp/seminar>

※お申込み受付け後に自動返信メールにてお申込確認情報が届きます。

■申込締切 **4月15日（水）17時必着**

「AI時代の危機管理広報」講座カリキュラム

※変更される場合があります

	第1部 AIが変えた危機の構造
15:00-15:50	生成AIがもたらす新たなリスク
	ディープフェイクの現実
	レピュテーション環境の変化
	広報が直面する課題
15:50-16:00	休憩
	第2部 AI炎上「初動24時間」の考え方
16:00-16:30	最初に確認すべきこと
	コメントを出す／出さない判断
	法務・ITとの連携のポイント
	モニタリングの再設計

<講師プロフィール>

●射場本 健彦 (いばもと たけひこ)
共同ピアーナル総合研究所 上席主任研究員



慶應義塾大学 総合政策学部卒

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了

大学院修了後、富士通にて農業生産・経営研究、ASEAN 港湾インフラ開発、2020年東京五輪関連事業に従事。2015年、SNS発信・メディアコミュニケーションを専門とする株式会社ジャパンコネクションを設立した。

最近では、ネットメディアの専門家として、国政選挙をはじめとした大型選挙運営にも携わり、政治・政策分野でのネット世論及びAIの活用可能性等に関する研究にも注力している。

2019年12月、当総研主任研究員に就任、2024年1月より上席主任研究員。

【実績および兼務中の役職】

2004年-2009年 岡崎研究所 岡崎久彦所長 情報セキュリティ担当秘書

2006年 未踏ソフトウェア創造事業採択 (共同開発者 UXデザイン/開発担当)

2009年-2015年 富士通株式会社 (農業・UX・カメラ研究/ASEAN開発/五輪関係政策渉外)

2013年 CEATEC 総務大臣賞 (富士通 農業生産システム開発)

2018年 (特非) 公共政策調査機構 運営委員・チーフ インフォメーション オフィサー (現任)

<お問い合わせ先> メールでご連絡ください。担当が一両日中にはご返信をいたします。

「PR総研」事務局 seminar@kyodo-pr.co.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F